

こうき kota

議会だより

VOL.
102
2001 11月1日



(幸田高校弓道部)

2 町民の税金がどう使われたか!

「平成12年度決算審査」

6 一般質問「学校に洋式トイレを」など6人が登壇

12 わが町を思う I LOVE TOWN・時の話題

14 視察レポート 『4委員会が行政視察する』

16 委員会活動報告 『新しい行政区が誕生』など

町民にどう使われた

私の税金

一般会計決算額

()内は前年度

歳入 123億592万円
(112億1,950万円)

歳出 117億1,688万円
(105億9,855万円)

9月定例会は、5日に招集され、28日までの24日間の会期で開かれました。
今定例会は、12年度の決算を審議するため、特別委員会を設置し、一般会計はじめ、8つの特別会計等を慎重に審査した結果、各会計とも原案どおり認定しました。
また教育委員会委員の任命他6件、補正予算関係7件の議案が上程され、すべて承認可決しました。
一般質問では、6人が当面する町政の問題点を指摘しました。

決算の概要

平成12年度一般会計の決算内容は、前年度と比較して、歳入で、10億8,642万円(9・7%)増加し、また歳出でも、11億1,800万円(10・6%)増加しました。

歳入では、相変わらずの景気低迷により、個人町民税の減少はあるものの、自動車関連企業の業績が伸びたことにより、法人税の大幅な増加があり、町税全体で2・6%金額で1億9,043万円の増加となりました。

歳出では、公債費(借入金の返済)の繰上償還、基金への大幅な積立がありました。主な積立内訳は、財政調整基金、3億497万円、都市施設整備基金、11億1,813万円です。

また特別会計では、土地取得特別会計が、幸田中央公園用地の購入により、前年と比べ激増となった。

なお、幸田町の年度末の借入金金は、一般会計、特別会計を合せて、223億7,642万円で、前年度より16億775万円増加しました。



土木、災害関係
5万0,234円(4万0,006円)



農業関係
2万0,532円(2万1,038円)



福祉関係
7万8,498円(8万8,483円)



公債費(借入金の返済)
3万8,983円(3万4,510円)



総務費
3万0,876円(3万4,742円)



教育関係
4万5,800円(4万3,279円)

このように
使われました
(一般会計)



平成12年度決算

総額228億円を チェック!



▲ 整備が進む中央公園

主な質疑

町民への還元は

Q 歳入で、当初予算より決算額が17億円多いのに、なぜ町民のために使われないのか。

A 将来の大型事業、借入金返済等、目的に応じた基金への積立てをしました。基金には、財政調整基金、教育基金、都市施設整備基金等9つの基金があります。

町税未収金対策

Q 町税の未収入額が多いが回収方法は。

A 職員は徴収に、日々努力しております。特に徴収月間を設けて、重点的に訪問しています。

借金の返済計画

Q 借入金の総額が2223億円あるが、返済予定は

A 返済のピークの年は、平成16年であり、今後の

施策において、新たな起債を抑制し、繰上げ償還に努力します。

災害対策の施策は

Q 大雨による鷺田立体の冠水の対策は。

A 一日も早く広田川の改修と菱池遊水地の完成に努力し、色々な方策も考えていきます。

水道料金の値下げを

Q 水道会計で6,600万円の純利益を上げているが、水道料金の値下げは考えないのか。

A 県水の値上げが、平成14年4月にも予定されており、値下げは考えていない。



▲ 東海豪雨による被害

平成12年度 特別会計等決算状況

区 分		歳 入	歳 出	差 引
特 別 会 計	土 地 取 得	40億9,533万円	40億6,757万円	2,776万円
	国 民 健 康 保 険	18億6,145万円	16億5,981万円	2億0,164万円
	老 人 保 健	19億3,686万円	19億3,686万円	0
	介 護 保 険	6億1,819万円	5億7,668万円	4,151万円
	通所介護サービス	1,162万円	1,162万円	0
	農業集落排水事業	4億7,058万円	4億5,859万円	1,199万円
	下 水 道 事 業	15億3,989万円	15億2,215万円	1,774万円
水道 事業 会計	収 益 の 事 業	7億0,026万円	6億3,337万円	6,689万円
	資 本 の 事 業	8,252万円	1億8,635万円	△1億0,383万円



▲ 快適な町民生活の実現へ

幸田町に交通安全条例できる

『安全対策の推進』

近年交通事故が多発し、自主的な交通安全の確保、交通安全対策への協力等、町の責務、町民の責務を明確にすることにより、交通安全対策に一層の推進を図るためのものです。

Q 町の責務、町民の責務の考え方は。

A 町は道路交通環境の整備や、交通安全思想の普及、安全に関する総合的

施策を実施する。

町民は日常生活の中で積極的に交通安全意識と、交通安全マナーの向上に努めなければなりません。

Q 罰則はあるか。

A 条例による罰則はないが、従来より積極的に迷惑駐車や違法な駐車など啓発指導し、良好な交通環境の確保に努める。

(全員賛成で可決)

税条例の改正

個人投資家の株式市場への参加を促進し、経済の活性化を図るのが目的であります。

Q 対象者および影響額は。

A 12年度5人、13年度17人で影響額は約54万円

里コミュニティ

11月に完成

であります。町税への影響は少ないと思います。

Q 経済効果は。

A 全国的には資金の運用がスムーズにでき、産業構造の推進ができる効果はあると考える。

(反対2・賛成18で可決)



▲ 豊かな個性を形成する (里中央コミュニティホーム)

Q コミュニティ施設には一種、二種の区別があるが、要綱に合っていない。

A 幸田町のコミュニティ施設は、一種、9カ所、二種、21カ所あります。要綱にあてはまらない施設が数カ所ありますが、今後、要綱の是正を考えていきます。

(全員賛成で可決)

人事案件

9月定例会において、教育委員、人権擁護委員の選任についての議案が提出され、両名が選任されました。

・教育委員に

齋藤智計氏 (深溝)

任期4年

・人権擁護委員に

原 陽子氏 (岩堀)

任期3年

おもな追加予算

■菱池保育園改築に向けて 1,245万円
保育園用地測量、造成設計、物件移転の補償にかかる費用です。

■公園整備として 3,500万円
幸田中央公園の雨水排水等の整備費用です。



■道路改良、整備に 7,500万円
町民要望に対応するため市街化区域内、市街化調整区域内の道路整備にあててものです。

■道路維持修繕に 700万円
仲田開渠のポンプを更新するものです。

■財政調整基金への積立に 4,400万円
都市施設整備基金（区画整理、公園用地取得）などに積立てます。

9月定例会の補正予算は都市公園整備費3、500万円など、7議案が上程されいずれも原案どおり全員賛成で可決しました。主な追加予算は次のとおりです。

こんな質疑が
されました

Q 中央公園整備にかかる今後の計画は
A 来年度2カ所のトイレを設置する。

町民に公園の一部を解放しながら、整備を進める。
Q 雨水排水対策は十分か
A 既設の施設を利用し、災害時の一次避難に耐える施設として計画している。

Q 菱池保育園にソーラー発電 雨水貯留施設を
A ソーラー発電を検討しているが、園全体で必要な電力を賄う設備は考えておりません。
雨水貯留施設は考えていない。
Q 汚泥処理コンポスト化断念の理由は
A 建設費に高額を要し、年間維持費も相当額がかかり、町単独では難しい。また、肥料成分に問題など考えられるため。

中央公園整備など 4億3、400万円

増額



▲環境を重視した保育園に

審議された他の議案

単行議案

・愛知県市町村職員退職手当規約の一部改正
(全員賛成可決)

・消防ポンプ自動車の取得
(全員賛成可決)

平成13年度補正予算

・一般会計 2件
(全員賛成可決)

・土地取得特別会計
(全員賛成可決)

・国民健康保険特別会計
(全員賛成可決)

・介護保険特別会計
(全員賛成可決)

・農業集落排水事業特別会計
(全員賛成可決)

・下水道事業特別会計
(全員賛成可決)

町づくり・町の考えは？

ここが聞きたいQ&A

学校に洋式トイレの設置を 実施計画に組み入れる



成瀬克己 議員

Q 家庭のトイレは洋式化が急速に進み、学校のトイレに対して約90%の子も達が洋式を希望、父兄も洋式トイレの設置を望んでいる。

本町小学校では和式が主流で、学校間に差もある。幸田、深溝、豊坂の各小学校では緊急用に移動式簡易トイレが1台仮置きしてあるのみで、特に低学年ではトイレに対する抵抗が大きい。

各校の各棟、各階の男女用それぞれに洋式トイレを1〜2カ所設置し、職員用トイレも洋式化することの考えについて問う。

A 学校は、子どもにとって勉強する場であり生活の場でもあります。トイレについても、快適な環境を維持いたしますと、子どもたちが、喜んで通学し、学校生活を十分エンジョイできるので、今日重要な問題であり、町としては、各小中学校、各階に1カ所でき得ればシャワー化を兼ね合せた、トイレを設置していくように、検討をしていきます。

パソコンでの申し込みを可能に 将来展望を考え検討

Q 近年町民のパソコンへの関心は高まりつつある。

一方、町の公共施設の利用申し込みは現地へ出向き書類による申請など、町も利用者が時間の無駄が多い。次の点を提案し、将来計画を含め実施の考えについて問う。

- (1) 公共施設の空き状況がホームページでリアルタイムに公開され、自宅のパソコンからでも申し込みができること。
 - (2) 利用料金は口座振替でできること。
 - (3) 電話による予約も可能とすること。
- 以上いずれも他の市町で実施事例あり。

A

(1) パソコン、インターネット等を使っている申し込みは、だんだんその方向にあると思いますが、現在の所、問題が多く、もう少し検討したい。

(2) 証紙の条例化等の問題もあり、むずかしいと思います。

(3) 公共施設の利用については、所管に申請書を出して、料金を納めて場所確保が必要となり、その時点で申請者と利用方法等について調整をしています。

そうした点からも検討していきます。



▲ パソコンによる申し込みを



▲ 安全なまちに（河川水質検査）

Q トヨタ自動車関連の工場周辺の、地下水、土壌から、有害化学物質、トリクロロエチレンが、環境基準を上回る濃度で検出された事件で、行政としての対応は。

町内には数多くの企業がある。公害防止協定の、調査報告の強化を図る考えは、小規模企業への適切な指導と調査報告の考えは、行政独自の調査する必要性について問う。



大須賀好夫 議員

公害防止協定の確立 県の条例を準用し的確に運用

A 地元関係区（野場永野）の役員への説明会を始め、町独自で、両区の井戸を2カ所調査をしました。
大気、水質汚染を始め、10項目について、現在町内の35社と、公害防止協定を締結しています。
協定の遵守は当然であり、厳しく指導していきます。
現在町では、地下水汚染7カ所、土壌汚染3カ所、排水検査では、6カ所、河川の水質は、年3回、16カ所で調査をしています。
その結果により、適切な指導をしていきます。
調査結果については、広報等で、公表しています。

Q 一般国道23号線の道路築造工事が進められ、平成19年度には芦谷インターまでが、供用開始の計画である。

A (1) 企業団地は西南部地域の中で、特に須美、野場を計画。
(2) 約50ヘクタールを調査している。
(3) 須美地区では、役員会が開かれ、準備委員会も設置されました。

(4) 当面、1、2年は極めて厳しいので、地権者等の理解をいただきながら、実現に向けて努力します。

西南部に企業団地計画 実現に向け努力



文化財の保護意識を 実現に向けて努力



笹野康男 議員

Q 幸田町の歴史、文化を学ぶ郷土資料館が、深溝の里地区にあります。

歴史の重要な財産である古文書、史書、絵画等々の保管が十分でないと思います。

財政の厳しい時であり、近年中に新しい郷土資料館の建設は無理だと考えますが、文化財保護のために、温度、湿度の管理された収蔵庫の整備、また現在の郷土資料館の内外の整備は必要不可欠だと思います。

幸田町の歴史である文化

財保護の重要制を意識し、町民に利用しやすい郷土資料館にする考えは

A 将来的な問題としては、町民会館ハッピネス・ヒルの一角にこの歴史資料館をつくる構想はあります。

財政が厳しいおり、今建設することは非常に難しい。しかし、収納保存する施設は必要があると思う。郷土資料館の北側の空地に土蔵のような施設を以前より考えており、実現に向けて前向きに進めます。



▲ 町民に利用しやすい郷土資料館に

補助教員の採用が必要 効果の上がる道を探る

Q 来年4月より学校において、完全週5日制が施行されます。

新しい学習指導要領で総合学習の時間が多くなり、基礎学習の遅れが懸念されます。今でも授業についていけない生徒があり、不登校の一因となっております。

週5日制になるとますます授業の遅れが心配になり時に小学校低学年の教育が重要と考えます。

40人学級の対応では無理だと思います。人数の多い学級は補助教員をつけ、子ども達に目くばり、気づき方が十分できる授業を行なう考えは

A 学校5日制に当たり学校、地域、家庭が一体となって、2日間の休みを十分カバーできるように努力する。

基礎基本を確実に身につけるような授業の展開を行



▲ 補助教員の採用でゆきとどいた教育を

ないながら、特に家庭での親子のきずな、地域での活動に参加をしていただき、総合的な学習の中で生きる力をはぐくむ組織づくりを進めたいと思っている。

教育の補助教員は町独自



丸山千代子 議員

介護保険に減免制度をつくって 当面国の三原則にて運用

Q 介護保険制度が発
足して1年半近くに
なるが、一割の利用料で負
担が高く、サービスを手控
える傾向がある。

また、低所得者ほど要介
護率が高いにもかかわらず、
負担が重くサービスを受け
られない現状もあり、幸田
町の所得階層別の実態から
もあきらか。

介護保険は、非課税者か
らも保険料、利用料を取り
立てるもの。10月からは、
65歳以上の保険料が満額徴
収で現在の2倍になる。

減免制度をつくって安心
して介護が受けられるよう
にすべきではないか。

A 介護保険制度の基
本的な考え方として、

国はこの減免に当たっては、
収入状況による一律減免は
行うべきでない。徴収額ゼ



ロの減免は行うべきではな
い。減免分の一般会計から
の持ち出しはすべきでない
としている。

しかし、県下88市町村中
10の市町村で、減免制度に
取り組んでいるのが実情で
あります。

本町での利用者意向調査
を行いました。その中で
利用料が高くてサービスを
手控えるという方は比較的
少数でした。

減免制度について、当面
状況を見ながら、検討して
いきたい。

青少年のニユースポーツ広場を 中央公園南側に整備

Q 幸田中央公園整備
構想に、ニユースポ
ーツ広場が計画されている
が、具体的な構想も決まっ
ていない。

全国でスケートボードに
熱中する若者は60万人とい
われる。幸田町では、町民
会館の駐車場など夜間に若
者が練習している実態があ
る。

青少年の居場所づくりと
して、要望に応えられるス
ポーツ広場が期待されてい
る。ストリートスポーツと
して始まったスケートボー
ド、フットサル、スリーオ
ンスリーなどニユースポー
ツ広場の早期実現を。

A 幸田中央公園整備
について、当面13、
14年度は緊急防災事業とし
て、排水対策を完了させ、
後に都市計画の公園整備認
可を受けながら、年次計画
を立て、ニユースポーツエ

リアとしての構想でもあり
ます400mトラック南側一帯
の整備も考えています。
青少年の健全育成という
視点からも、ニユースポー
ツは気軽にできる大変意義
効果がありますので、スケ
ートボードを含めて、関係
者の意見を聞いて整備の組
み立てを考えていきます。



▲ 要望に応えるスポーツ広場を

過大行政区再編の取り組みを

実態調査を行い可能な限り整備



伊藤宗次 議員

Q トヨタが宅地開発する区域の行政区調整の途上で、町長「新しい行政区が生れつつある」と結論づけたり、小字名を「桜坂」としトヨタの意向に沿うがごとの言動は、幸田町の良心・魂を売り、企業城下町にするに等しい。

1、000世帯を超える大草、岩堀、芦谷の過大行政区の再編成と複数の行政区が入り乱れる区域の解消めざし関係住民とヒザを交え、住民自身の課題として協議し解決する意図は、恒常的な組織の必要性を問う。

A 中央公園東側住宅開発地の行政区問題については、4月12日以来、関係学区の役員等と協議を

重ねてまいり、最終的には、新しい行政区を設置することが妥当であるとの見解で、9月4日関係5区の区長さ

重ねてまいり、最終的には、新しい行政区を設置することが妥当であるとの見解で、9月4日関係5区の区長さ



▲ 行政区域の見直しを（住宅開発始まる）

んの間で、覚書が締結されました。過大区の分割は非常にむづかしい問題であります。行政区が入り込んでいる実情の解消については、今後各区1～2名土地問題に長じた方をお願いして、実態調査を行い可能な限り、整理したい。



▲ 適正な現況課税に

農地等が資材置場課税実態正せ 実態にあう課税に努める

Q 土地の固定資産税
地目は現況課税だ。

登記地目が農地、山林、原野でも資材置場等に無断転用されていれば現況で課税するが、意識的な目こぼし、政治的配慮で現況課税されていぬ土地がある。

固定資産評価員は、机上だけの仕事と職員まかせである。年1回は、実地調査

し、正しく評価せよ、と法が規定している。なぜ、実地調査せぬ。

不公平、不正課税が意識的につくり出されている。行政不信の一因でもある。改める具体的方策を問う。

A 固定資産税の問題については、現況課税が基本であります。

農地、山林、原野など、一部において、現況課税になっていない部分がないとは決していえない。

毎年評価を見直すことは、実務的に、事実上不可能であります。

本年が課税の見直しの時期でもあり、航空写真をもとに現地に出向き調査をし、適正課税に努めていく。

志賀武雄
議員



保育園と学校の連携強化 幼児期の教育が大切



▲ 教育環境を整えることが大切

Q

(1) 「学級崩壊」「校内暴力」の多発が報道されている。家庭教育と幼児教育の大切さを痛感する。保育園、小・中学校の責任者と、行政の担当者が一堂に会して、問題点を探り、教育環境を整えることが必要と思う。その取り組みについて問う。

(2) 本年度第13回中学生海外派遣団は、カマリロ市（アメリカ）から無事帰町した。14年度は、12年

A

(1) 間違ったカマリロのホームステイを見直すという。伝統ある流れの中で、その取り組みを問う。

(1) 荒れる学校、荒れる学級崩壊の要因につきましては、教師の学校運営などいろんな要素があると思う。幼児教育、保育の時期における人間形成が最も大事なことである。教育委員会、学校関係者等よく協議していきます。

教育環境の整備として、学校施設整備、少人数学級などの実現に向け教育委員会としても検討する。

(2) 中学生の海外派遣先に ついては、教育委員会、学校関係者と協議をかさね結論を出したい。

旧国鉄貨物跡地の処遇

駅前再開発の全体計画で検討

Q

幸田駅の蒲郡寄りにある仲田開渠（ガード）は、デンソー幸田製作所の操業時から従業員の大型バスによる輸送経路になっている。狭い、見通しが悪い、急なカーブ、急な坂道、通勤時の混雑が運行開始当初から指摘されていた。

旧国鉄貨物跡地を町が取得した時点で、この土地がデンソー輸送の起終点になると言われていた。この跡地は、駅前再開発に当たられると聞く。

将来、ここを使って仲田開渠経路がなくなるのか、その構想を問う。

A

仲田開渠につきましては、幅員も狭く、



▲ 旧国鉄貨物跡地の予定は（仲田開渠）

鋭角をUターンするような形の、バスルートになっています。通勤時の混雑などについては、地形上やむなく坂道に停車という状況もあります。

良好な運転と、細心の注

意を払って現在運行している。ただ、いかに敬意を表します。

旧国鉄貨物跡地についても将来的には、幸田駅前地区の全体計画の中で考慮し、駅前広場の拡張にあわせて形で検討していく。

I LOVE TOWN

わが町を思う

住めば都



【岩堀区】
鈴木定夫さん

私は昭和49年、幸田に「ついでのみか」を建て、名古屋から引っ越して来ました。

幸田を選んだ理由は、

- ①父の生れ故郷である。
- ②昭和20年に戦災で家が焼け、東京から鷺田の伯父の家に一時疎開して来たので馴染があった。
- ③子どもが自由に遊べる自然が多かった。
- ④地価が安く、名古屋近郊の3分の1であった。
- ⑤会社まで通勤に1時間半も掛かるが、定年まで15年我慢すればいいと割り切った。



あれから30年。田畑に住宅や工場が建って田舎からまちになり、大型スーパーが進出して日常の買物には不自由しなくなった。

また、町民会館のうれしい企画や、図書館を利用して私は好奇心を満たしている。

住めば都というが、幸田を選んで良かったと思っています。

白い彼岸花 みいーつけた！

【市場区】

三浦みどりさん



毎週土曜日午前5時、JR三ヶ根駅に集まった人と約1時間の散策（ウォーキング）を楽しんでいます。

白い彼岸花を道端に見つけました。赤い彼岸花が強烈に季節を教えてくださいますが、白い彼岸花はひっそりと静かに自然を語っています。

「お墓参りに行くんですよ。」と。

梅、桜、紫陽花、蓮の花、紅葉や新緑、栗、柿の実それぞれの季節に合わせて、きょうは海谷へ、里へ、市場へ、逆川へと歩きながらおしゃべりしながら。



お知らせ

元 初目の出
六月 紫陽花
八月 深溝夏まつり

みんなでいっしょに歩きましょう。ちよつと早起きをして、物好きな精神を呼び覚まして。

「……」

みいーつけた。」

大日陰グラウンド・ゴルフ場



時の話題



心豊かな交流を



グラウンド・ゴルフ協会
会長 黒柳孝夫

常々私はスポーツのもつ社会性、文化性の向上ということを考えています。

協会は設立以来11年目を迎えて、約520人の会員を擁する愛知県下でもトップクラスのスポーツ団体です。そしてこの度、専用のプレイ場として県内でも有数の「大日陰グラウンド・ゴルフ場」の開場とまさに順風満帆のおもむきです。

ここで私は一プレイヤーとして、これからの協会活動に心がけたいことを述べてみます。良きプレイヤーとはどんな人を用うのでしょうか。その目のスクアーに一喜一憂しているだけのプレイヤーでは自己満足の世界の繰り返しです。プレイをしながら周りの

人のことを考える、人間的なゆとりが大切ではないでしょうか。それが人の心を豊かにし社会性、文化性の向上に向かわせるのではないのでしょうか。

大日陰グラウンド・ゴルフ場はいつでも誰でも利用できる交流広場です。大事に育てていきたいものです。



旧三菱レーヨン工場跡地

住宅開発
(200戸)

幸田中央公園
(2万坪)



レポート

◆ Report ◆



▲ 日本一いきいきとした聖籠中学校

文教福祉

学校のイメージ を変える中学校

7月3日から5日まで、新潟県で3カ所の視察研修を行いました。

◆聖籠中学校

新潟県で最初の、教科センター方式の中学校として4月に開校。生徒は〇年〇組という学級がありますが、学級のための教室はありません。かわりに、ベンチしかないホームベースがあります。教室は、各教科専用の教室になっていて、その時間になると生徒が学習用具をもってその教室に入りますが、席順は原則自由。個人を基本に学校生活を

組み立てていくというなかに、生徒自身の意気込みを感じ、成功の日の近いことを確信しました。

◆みずほ保育所

保育所、子育て支援センター、児童館が同一敷地内にあり、子育てに関する総合施設として整備が図られています。少子化対策についても、さまざまな取り組みのあることを実感しました。

◆十日町学校給食センター

施設管理は市で行い、調理・運搬は民間へ委託しています。2階は、ランチルームになっており、食教育の取り組みは高く評価されます。

環境施設 整備対策

最終処分場の選定は

◆ 研修目的

本委員会は6月26日幸田町の不燃物処理場において処理した埋め立てごみ「カレット」の受入先である民間施設「イーステージ(株)」の現況受入処理について研修視察を行いました。

◆ 概要

- (1) 長野県小諸市大字平原
- (2) 資本金5、000万円
- (3) 事業内容
- ① 一般廃棄物最終処分

② 産業廃棄物最終処分

③ 平成11年売上高

47億6、000万円

(4) 処理能力面積

2万4、000㎡

埋立容量

48万㎡

(5) セメント固化による埋立方法で、年間6万㎡の埋立てをしている。

・幸田町では平成12年度は83・49ㄲ、運搬処理費用が348万円をイーステージ

(株)に委託している。

・長野県をはじめ18県92市16町84村から搬入されており、自治体の申し込みが増加して、平成14年度以降は受け入れがどうなるかわからない状況である。
・幸田町としても9候補地を3候補地に選定する業務を本年度中に現地調査委託して総合的判断をしていく予定である。



▲ 最終処分場の早期建設を（長野県小諸市にて）

視察

産業建設

農協と行政とで

土づくり

○栃木県高根沢町

「土づくりセンタ
ー」について

約8億円かけ生ゴミと牛糞を、もみ殻と混ぜ、年2500t生産し、2t車一杯1万円、10K袋350円で「完売」している。

山積み野積みの施設が多い中、全町民のモラル向上と有機循環型農業を目指し成功した例である。県下有数の農協と行政が

一体化し農家づくり町づくりを目指す故であろう。

○栃木県真岡市「集落排水汚泥処理施設」について

62,000人の市に農業集落排水施設8カ所あり、石灰やもみ殻混入で農地還元が3カ所、下水処理センター搬入が4カ所、広域クリーンセンター焼却が1カ所である。

石灰混入コンポスト化施設を視察し、利用者1,900人建設費1億円弱である。

製品は施設加入者に、無料で土壌改良材として畑にまかれていた。

留意点として、石灰による水分とPH調整の自動化や、臭気対策などが難しい。幸田町も13の施設を持ち、同様の課題を抱え意義ある視察であった。

他に福島県玉川村の産地直売施設も視察した。

▲農協と行政が一体となった町づくり
(栃木県高根沢市にて)

議会広報

わかりやすい議会広報誌を

8月1日2日と群馬県伊香保町と長野県佐久町を視察しました。

議会の活動状況を、早く正確に町民へ知らせるのが「議会だより」の使命であります。

今回視察地に選んだ2つの町は、先進的な編集を心がけておられ、全国コンクールにも何度か上位入賞されていることで、意義ある研修となりました。

◎伊香保町議会

人口は4,000人程ですが、旅館数59軒、収容人員一晚12,000人、年間観光客190万人、全国に知れた温泉の町であります。創刊は昭和63年、現在54

号、編集委員8名で定例会終了後企画内容打合せ、3回の会議を経て発行。原稿の作成は、一般質問は問答共に質問者が、視察報告は参加者の中から、後は委員が書いています。



▲伊香保町広報委員と意見交換

◎佐久町議会

県東南部にあり、群馬県と接し、人口約9,000人、八ヶ岳山麓の美しい町です。創刊は、昭和57年、現在75号、定例会終了後45日以内の発行を目的にしている。

編集委員は6名で、企画からすべて行っている。

原稿も一般質問は問答共に、他の原稿もすべて委員がまとめて書いています。

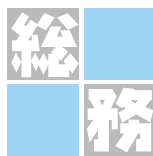
両町共、紙面づくりには読んでもらえるよう文章は分かりやすく、空間も取っておりです。

本町の議会だよりも程んど同じ考え方で編集しているので、紙面がとても似ていました。

これから一層研さんを重ね、住民により親しまれる広報づくりに努力していきたいと思っています。

委員会の活動報告

Activities Report



新しい行政区が誕生

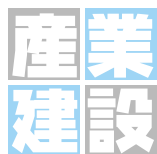
8月24日総務委員協議会において、民間企業による住宅開発にともなう町行政区割について報告があり協議した。報告の内容は次のとおりである。

民間企業による開発計画は旧三菱レイヨニー跡地約2万坪を一般住宅地として開発し、新しい行政区が誕生します。
地域的には菱池字御林が



▲ 新しい行政区が誕生する（住宅開発現場）

約13、600坪、横落字郷前が約4、000坪、芦谷字宮ノ根が2、200坪であり、すでに5区の間で慎重に協議し合意されております。
開発計画戸数は218戸で、14年4月から一部入居が始まる予定で、今後毎年60戸程度分譲しおおよそ3カ年計画で進め750人程度の生活の場となります。
開発地域は大字菱池とし、小学校は荻谷学区、中学校は幸田中学校とするものです。
新しい行政区は、平成14年4月から誕生する予定であります。



魅力ある農業に

8月22日、産業建設委員協議会で平成13年度の地域農業マスタープランについて報告がされた。

幸田町の現状から、より魅力とやりがいのある農業経営を目指し、施設園芸の振興と土地利用型農業の規模拡大と農地集積、加えて担い手育成を重点目標とする。

町・JA・普及センターが、生産と経営に指導と研修を行い、支援と事業化を総合的に実施する。

主要作物については、生産性と販売戦略をさらに努力検討するとの報告。

厳しい状況下農業発展のために、より努めるよう意見が出た。



▲ 「みかわっこ」筆柿の出荷始まる

筆柿選果場現況視察

9月20日選果場を視察し、今年は1、000t15万箱目標に、日25t4、000箱の選別出荷量である。

30人ほどで、4年目を迎えた自動選別機へ搬入から箱詰めに携わっている。

昨今の価格低迷から、特産物ゆえのあまえを無くし栽培から販売まで全過程を見直し、できた物を作る姿勢でなく売れる物を作るの意気込みである。

特別大玉の出荷では、色付きを基準とし東京の太田市場や大阪、名古屋に絞り「みかわっこ」と名付け出荷している。

厳しい時世、安定販売を期待する思いである。

快適な保育園をめざして



▲ 快適に過ごせる保育園を

7月23日、町内9保育園を視察しました。

夏真っ盛り、園児の楽しみは、プールでの水遊びです。どの園も午前中はプールが大にぎわいでしたが、老朽化が進んでいるプールもあり、近年、改築が必要であると感じました。

現代は、和式トイレから洋式トイレが主流となってきました。しかし、保育園のトイレは和式が多く、今後は洋式トイレが主流となるように変更していく施策が望まれます。

食の安全は、抵抗力が弱い園児には重要であります。

暑い時期の熱い調理室では、食中毒の予防から、冷房の必要性を強く感じました。

少子化の時代といわれ、乳児保育、延長保育、子育て支援機能など多様な保育ニーズが求められています。すべての園児が、幸せに、快適に過ごすことのできる保育園の環境整備が求められています。

意見書

国に送付しました

テロ根絶を決議する

9月11日、米国でハイジャックされた複数の民間航空機がニューヨークの世界貿易センタービルとワシントン国防総省に突入し、尊い人命を無差別に奪うテロは、絶対に許されない。いかなるテロ行為についても、その根絶を目指し、法と理性に基づき問題の解決がはかられることを強く求める。

●国庫負担制度の堅持を求める意見書

教育予算の確保、義務教育費国庫負担など強く要望。

●私学助成増額に関する意見書

私立高等学校以下の経常費補助の拡充を図られるよう強く要望。

●道路整備予算確保に関する意見書

地方の道路整備財源の確保と充実強化を図ること。

『議員提出議案』

●幸田町議会委員会条例の一部改正

議会運営委員会の委員定数を7人から8人に改める。



丹羽郡大口町議会 編集委員会が来町

8月3日、尾張の大口町議会だより編集委員会が研修のため来町されました。大口町は、犬山市と小牧市に接した人口約2万人の町である。議会だよりの紙面を一見して、本町議会だよりというんな面で大変よく似ていると感じました。



写真や文章のレイアウト(割付)、見出し文のまとめ方、また文章の段数、字数の取り方等も同じ手法でありました。

これは、お互い毎年県で行う研修会「議会広報クリニク」で研さんを積んでいることで、共通の編集に対するこだわりを持っていることから来ているものと思われます。

委員構成、印刷、編集方法、視察研修会等とても似た部分の中にも、手法的にはいろいろ違っていて、双方十分意見交換できて意義ある研修となりました。

あなたも議会を 傍聴してみませんか

12月議会の本会議は、
下記のとおり行う予定です。

●会期の日程

- 3日(月) 開会、議案の説明
- 6日(木) 一般質問
- 7日(金) 一般質問
- 10日(月) 議案の質疑
- 11日(火) 議案の質疑
- 21日(金) 閉会、討論・採決

●場所 役場5階 議場

●時間 午前9時より

◎詳しくは議会事務局へ

☎63-5151

竹炭アラカルト

皆さんは、炭と言えば何を思い出しますか。炭焼バーベキューや脱臭等に使われる備長炭が最高級品として有名ですね。

最近では健康に関心が多くもたれ、竹の炭が注目されるようになってきました。

それは竹炭の長所が見直されてきたからです。材料としての竹はとても成長が早く、繊維が真つすぐ通っていて昔から家庭用品として利用されてきました。

その竹を炭にすると、違った長所が生まれるのです。竹は体積の割に表面積が多く、炭の特徴であるおいを吸収する力は他の炭の何倍もあります。

また微生物がたくさん付着しやすく、それらは水を浄化する力も強力です。

竹炭を作る時に出る液体は竹酢液と言います、最近話題になっているのです。



お詫びと修正

101号の議会傍聴記で小玉美津江さんを小玉美津枝さんと掲載しました。ご家族・関係の皆さんにご迷惑をかけたことをお詫びします。

編集後記

今年の夏は、早ばつと酷暑のまさに異状気象でありました。

幸田町における7月の降水量は、平年で150mm、200mmであるのに対し、わずか18mmでした。

一方気温は、最高39.9度を記録、35度以上の猛暑は、7月、8月にかけて15日間と、暑く乾いたひと夏でありました。

反面9月には、台風の影響による災害も発生しました。

いづれも避けられぬ自然条件ですが、状況に対応できる心がまえは必要だろうと思います。

9月定例会でも災害に備える対策費が補正で可決されましたが、議会での内容、活動状況を町民の皆様に分かりやすくお知らせするべく努めていますので、ご愛読下さるようお願いいたします。